

清友

No. 26

2011年10月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



脱原発をスローガンに掲げて 全国高齢者集会

今年も9月の高齢者連続行動がもたれ、清掃退も元氣に行動に参加しました。

地公四単産・地公退高齢者集会

9月14日、神田一ツ橋の日本教育会館で開催されました。

集会の基調は、年金・医療・介護・福祉・少子化対策や税制、脱原発・エネルギー政策、平和問題等の諸課題を地公の現役と退職者が統一して運動を推進することです。

記念講演として、原水禁副



9.15 全国高齢者集会



2011年度 9.14地公四単産・地公退高齢者集会
主催 自治労・日教組・都市交・全水道・地方公務員退職者協議会



9月15日、日比谷公会堂に全国から2千人が結集して開かれました。先の総会で新たに会長に就任した阿部高退連会長は主催者挨拶で、「原発事故が大震災被災者の救済と復旧・復興の障害になっている。政府は自民党政権の原発依存政策を抜本的に見直すこと」を求めました。

事務局長で自治労三多摩地協前議長の藤本一昭さんから「脱原発社会に向けて」のお話があり、「福島原発は依然安定冷却といえず、原発労働者は被曝し続けている。国策として突き進んできた原子力政策は完全に破綻したが、国益論・エネルギー枯渇論・成長神話との闘いは続く。」など、福島原発の現状と脱原発運動の課題が明確にされました。

全国高齢者集会

9月15日、日比谷公会堂に



全国高齢者集会後銀座デモへ向かう自治退

めしました。また、高齢者医療制度について、自身が委員として新制度案を確立したことを踏まえ、早期実現へ向けた取組みの決意を示しました。

古賀連合会長は挨拶の中で、「震災からの復興・再生を確実に成し遂げるためには、働くことを軸とする安心社会の実現が必要」と強調したものの、原発問題には一切触れないという残念な内容でした。

地域からの意見発表は、東日本大震災の被災地で復旧・復興に取り組む岩手・宮城・福島の代表が発言。支援に対する謝意を述べ、厳しい状況を報告しつつ必ず復興を果たすと力強く訴えました。

集会終了後、熱中症が心配になるほどの厳しい残暑の中を、旧都庁跡まで元氣にデモ行進しました。

秋期学習会 交流



▼市民が安心して暮らすためには
社会保障の充実が必要▼そのため
には大きな財源が必要▼お金はどこ
から湧いてくることはない

9月27日、川端自治退事務局長を講師に
招き、日本の進路を大きく左右する重大課
題の「社会保障・税の一体改革」をテーマ
に秋期学習交流会を開催しました。これま
での学習交流会最大の27名が参加。内容も
わかりやすく、実りのある学習会になりま
した。終了後は、和やかに楽しく懇親会。



① 国保対象者も所得比例導入
国保対象者の過半は非正規
労働者。事業主負担分がない
ので掛金は厚生年金の倍にな
る。払えるのか疑問。

② 基礎年金を税負担方式に
既年金裁定者は掛金の二重
払いになり、基礎年金分の事
業主負担がなくなるなど問題。

③ 短時間労働者
の厚生年金適用
の厚生年金適用
の厚生年金適用
の厚生年金適用

「社会保障・税の一体 改革」の概要と問題点

● 新年金制度案の柱

後期高齢者医療制度の廃止
を求めていたが、政権交代に
より高齢者医療制度検討会が
できた。従来、高齢者の意見
は実質的に反映されなかった
が、阿部高退連事務局長（現
会長）が委員に入り、利害関
係が複雑な中、われわれの主
張がほぼ通った。その背景は
80万人の退職者会にある。組
織を大きくすることが重要だ。

● 一体改革の両面性（年金編）
改革と引締めは両面がある。
① 最低補償機能強化＝歓迎
② 高所得者の給付制限
所得が一定以上の場合、ク
ロウアップ（年金削減）また
は税で返す（控除水準を上げ
る）方法。線引き問題はあ
るが、高額所得者が基礎年金の税負

④ 短時間労働者
の厚生年金適用
の厚生年金適用
の厚生年金適用

自治退の考え方

● どんな社会を選ぶか

アメリカ型の強いもののみ
がサービスを消費できる社会
ではなく、再分配社会（分配
のための負担が必要）を
選択。

● 財政は戦時体制

歳出額は税収の2倍を超え
ており、国債頼り。一般会計
中の社会保障費は31%、国債
費23%、地方交付税18%、そ
の他27%で余裕は全くない。

● 社会保障にいくらかけるか
社会保障は少なければいい
という考え方（新自由主義、
小泉改革）は間違い。社会保
障の強化は経済的に寄与する。
ただし、特別会計含む社会
保障費は107兆8千億円で一般
会計全体より多い点に留意。

● 財源調達は保険料と税
保険料制度は優れた制度。
税方式は企業負担を減らすこ
とに作用する。日本の法人税
は高いというが、企業の社会
保障負担は低い。むしろ、法
人税を増税すべき。

● 所得税増税の問題点
小削減税で高所得者の税率
が下がったままなのは問題。
ただし、高所得者数は少なく、
所得税増税では中所得者の税
負担が増える危険性がある。

● 消費税増
税の是非
消費税は逆
進的税制だ
が、社会保
障限定なら
低所得者に
厚く配分さ
れ、逆進性
が薄まる。



学習会の後は楽しく懇親会

第3回幹事会

9月27日に第3回幹事会を開催し、①脱原発全国署名実施、②東京清掃賃金確定闘争の対応、③「団結まつり」の取組み、④会員拡大へ向けた取組み、⑤自治退都本部常任幹事推薦等を確認しました。

■脱原発実現全国署名

作家の大江健三郎さんなどの呼びかけで進められている「脱原発1千万人アクション」の一環として首相等へ宛てた「脱原発実現全国署名」が取り組まれています。

自治退都本部の指示によりこの署名を取り組むことになりました。署名用紙の返送期限は11月19日ですので、よろしくお願ひします。

■東京清掃賃金確定

現役世代を支援することは退職者会の存在意義の一つです。今年も、東京清掃が企画する行動にできる限り応援していくことにしました。

■団結まつり

10月23日に開催される「団結まつり」に積極的に参加するようにお願ひします。

■会員拡大へ向けて

退職者会の活動強化と組織

の拡大へ向けた具体的な取組みを進めるために、東京清掃本部

との定期協議を実施するよう要請することにしました。

定期協議は、東京清掃の退職者会担当と退職者会三役を軸に必要な応じて幹事にも参加していただきます。当面、二月に一回程度開催し、この定期協議を通じて、東京清掃へ会員拡大に向けた取組み強化を求めていくことにします。

■都本部常任幹事

今年には自治退都本部と都庁退役員の改選期です。都庁退役員選考委員会で清掃から都本部常任幹事を出してほしいとの要請がありました。各単会が順番に対応するという仕切りもあるようなので、受けやることにし、庄司事務局長を自治退都本部常任幹事に推薦することにしました。事務局長との兼任なので大変です。三役・幹事でサポートすることもあわせて確認しました。

退職者会活動日誌

*7月22日の第2回幹事会以降9月27日の第3回幹事会までの活動記録。

▼8月3日、都退協総会と結成40周年レセプションが開催され、戸張副会長、小林事務局次長が参加しました。総会とレセプションの様子は9月号報告のとおりです。

▼8月29日、自治退都本部幹事会が都本部会議室で開催され、幹事の小林事務局次長が参加しました。主な議案は総会へ向けた活動方針の提起などでした。

▼9月1日、都庁退役員選考委員会が都本部会議室で開催されました。役員選考委員会は各単会会長により構成されています。渡辺会長が参加し、都本部常任幹事を選出するよう要請されました。

▼9月5日、第4回三役会を開催し、会員拡大へ向けた当面の取組み、自治退都本部常任幹事選出などを検討しました。

▼9月10日に東京清掃ボウリング大会が開催されました。戸張さん、岩渕さん、馬鳥さん、柳さんの4人で退職者会チームを編成、庄司事務局長と戸枝会計が応援団として参加。内容は別記のとおりですが、メンバーは早くも来年の大会へ向けてやる気満々。

▼9月14日・15日は高齢者連続行動日でした。14日の地公四単産・地公退高齢者集会には庄司事務局長と渡辺幹事、15日の全国高齢者集会には鈴木副会長と岩渕監査、両日とも取材で戸枝会計が参加しました。行動内容は別記のとおりです。

▼9月19日の「さようなら原発5万人集会」には会員9名と家族1名の計10名が参加しました。会場の明治公園は立錫の余地もないほど人であふれ、脱原発へ向けた強い意思を共有しました。

▼9月21日、都庁退第8回親睦交流集会バスツアーが開催され、戸張副会長、小林事務局次長、小泉監査が参加しました。あいにくの台風による激しい風雨のためリング狩り等は中止になりましたが、川場村の世田谷区民健康村にて、温泉浴を楽しみ、各単会の仲間との親睦と交流を深めることができました。

▼9月27日、第5回三役会と第3回幹事会を開催。幹事12名参加。会議の内容は今号の報告のとおりです。

▼9月27日開催の清掃退学習交流会の模様は別記のとおり。

▼事務局会議・事務業務は、8月4回、9月5回。主な取組みは、行動企画、学習会準備、旅行会案内、機関紙発送などでした。



さようなら原発集會に 6万人結集、脱原発1千人署名を成功させよう

明治公園で、「さようなら原発・5万人集會」が開かれました。

9月19日に

全国各地から6万人が参加し、会場内は立錐の余地もなく、日本の脱原発運動史上最大の集會になりました。

退職者会も会員9名家族1名の合計10名が参加。集會では、呼びかけ人の大江健三郎さん、落合恵子さん、内橋克人さん、澤地久枝さんが、市民の力で政治を動かし脱原発を実現することを訴え、ドイツ市民からの連帯のあいさつや、原発事故以降の福島の状態

験等が語られました。

集會終了

後、渋谷、

原宿、新宿

の3コース

に分かれ、

脱原発の実

現を訴えデモ行進しました。



「さようなら原発1千万人アクション」の集中行動は、約2千人が結集して経産省を包囲した9月11日の「原発の再稼働を止めよう！経産省包囲アクション」から始まり、全国各地で行動が行われ、経産省前では10〜20台の若者が10日間のハンストを貫徹しました。



経産省包囲 “人間の鎖”



若者が経産省前で10日間ハンスト

1千万筆を目標に進められている「脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名」を退職者会も取組みを始めます。是非ご協力ください。

止めよう原発 核のない世界へ！なくそう非正規労働！すべての争議勝利！作り出そう 戦争と貧困のない社会を！ 10・23 団結まつり



「団結まつり」は、1074名の不当解雇撤回を求める国鉄闘争の支援を中心課題にしてみました。国鉄闘争は政治決着により一応終結しましたが、雇用破壊が進み、貧困と格差はますます拡大しています。戦争と格差のない社会の実現をめざすため、今年も「団結まつり」が開催されます。積極的な参加をお願いします。

団結まつりの案内

- 日時 10月23日(日) 10時～15時
- 場所 亀戸中央公園 東武亀戸線「亀戸水神駅」から3分

大いに盛り上がった 東京清掃ボウリング大会

9月10日、東京ドームボウルで東京清掃ボウリング大会が開催され、各地連などから18チーム72人が参加し、熱戦を繰り広げました。

チーム4人2ゲーム合計で集計、優勝・文京支部、準優勝・中央工場支部、第三位・多摩川支部でした。わが退職者会チームは残念ながら入賞には少し(かなり?)届かなかつ

兼懇親会が行われ、参加者や支部役員が交歓、成績発表に歓声とヤジが入り交じり、大いに盛り上がりました。次回も退職者会として参加したいと思えます。



馬鳥さん、柳さん、岩淵さん、戸張さん、後ろは応援の庄司事務局長

たようです。ゲーム終了後、清掃会館に移動して表彰式